

会議結果報告書

平成31年1月11日

| | |
|--------|--|
| 会議の名称 | 平成30年度第5回志木市健康づくり市民推進協議会 |
| 開催日時 | 平成31年1月10日（木）午後1時30分～3時00分 |
| 開催場所 | 志木市役所 4階 全員協議会室 |
| 出席委員 | 山下和彦会長、渡部日恵委員、谷合弘行委員、日東明子委員、前野房子委員、星野賢委員、原田由美子委員、齋地満委員、小松順子委員、濱田好江委員、西和江委員、滝沢麻子委員（代理出席）、田代健委員、飯田順一委員 (計 14人) |
| 欠席委員 | 小山博久副会長、鎌田昌和委員、谷岡正吉委員、荒野壽子委員、小松喜六委員、金敷禎子委員、村田敬吾委員、大熊啓太委員、 (計 8人) |
| 説明員職氏名 | 清水健康政策課副課長、貫井なおみ健康政策課主査、伴恭臣健康政策課主査、金澤健康増進センター所長、飯塚奈巳健康増進センター主査 (計 3人) |
| 議題 | (1) 志木市いろは健康21プラン（第4期）の素案の意見公募結果等について (2) 市民のこころと命を守るほっとプランの素案の意見公募結果等について |
| 結果 | 別紙、審議内容の記録のとおり (傍聴者 0人) |
| 事務局職員 | 村上孝浩（健康福祉部長）、豊島俊二（健康福祉部次長）、今野美香（健康福祉部参事兼健康政策課長）、清水裕子（健康政策課副課長）、伴恭臣（健康政策課）、貫井なおみ（健康政策課）、金澤嘉子（健康増進センター所長）、杉田明子（健康増進センター主幹）、飯塚奈巳（健康増進センター）、古瀬友理（健康増進センター） |

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 議 題

(1) 志木市いろは健康21プラン（第4期）の素案の意見公募結果等について業者及び事務局より意見公募の結果、「志木市いろは健康21プラン（第4期）の計画案」に基づき、内容の説明を行った。

委員長：計画（案）について、何か意見があればご指摘いただきたい。計画の推進体制イメージ図をご覧いただきたい。計画の進行管理と評価を行っていく上で、委員の皆さまが柱を担っている。本日も出席されている多くの委員は、専門機関及び関係団体にあたるので、連携、協力をお願いしたい。

また、今回の計画においては、子どもから高齢者までという視点と、高齢者を前期・後期に分けたという視点が新しく盛り込まれた。以降、順番に特筆すべき点を見ていきたい。

「低栄養傾向（BMI20以下）である高齢者の割合」を見ると、全国と比べて志木市は低くなっており、志木市はやせが多く虚弱傾向にある。高齢者のからだづくりを進める必要がある。

ポリファーマシーについては、国も力を入れているので、知識も含めて啓発していただきたい。

予防接種に関わる内容で、带状疱疹の患者が多くなってきている。後期高齢者の死因の第3位が肺炎となっている点も踏まえると、予防接種の接種率の指標に加えられるかどうか検討していただきたい。加えられなくとも、対策を進めていただきたい。

いろは健康ポイント事業の参加者数という指標があるが、活動量を見える化して、いかにフィードバックするかが重要である。65歳以上の現状値をみると、男性、女性どちらも5,000歩台となっているが、歩いている人は歩数がとても高く、歩いていない人はとても低い傾向にあると考えられる。

地区別では、館地区は高齢化率が最も高い地区にも関わらず、要介護2以上の認定率は最も低い地区となっており、特徴的である。地区ごとに健康増進をどのように広げていくのか、という視点も重要である。

食育の内容については、重要な取組のため、今後力を入れていただきたい

い。来年度以降、計画を実践する過程で引き続きご意見をいただきたい。

(2) 市民のこころと命を守るほっとプランの素案の意見公募結果等について
業者及び事務局より意見公募の結果、「市民のこころと命を守るほっとプランの
計画案」に基づき、内容の説明を行った。

委員長：計画（案）について、何か意見があればご指摘いただきたい。この計画
では3つ重要なポイントがある。まずは行政が心の相談窓口のような環
境を整えること、加えてその認知度を高めること、最後に周囲からのサ
ポート体制にあたるゲートキーパーの養成である。以降、いろはの計画
と同様に、順番に特筆すべき点を見ていきたい。

ゲートキーパーのコラムにあるように、皆さんがゲートキーパーの担い
手となるので、是非、協力をお願いしたい。

住民への普及啓発について、「市民力を活用して」とあるので、関連資料
を配付したり、チラシを目立つところに置くなど、認知度を高めるため
に協力していただきたい。

ハイリスク者に向けた対策をみると、当会議の議論が反映されていると
思うので良いと考える。新たな取組となるまちなか保健室も広めていた
いただきたい。

基本施策における指標のところ、住民への普及啓発の現状値が6.6%に
対して、目標が25%以上となっている。力を入れないと達成できない目
標であるので、さらなる普及啓発に注力いただきたい。

(3) その他

事務局から今後のスケジュールについて説明を行った。

一人ひとりの委員から2年間の協議会を振り返った感想を述べていただいた。

健康福祉部長から締め括りの挨拶を行った。

3 閉会

以 上